

自民党道連



HOKKAIDO

政治塾

《第2期》

後から歩む者は、

古人の跡を求めず、

古人の求めたところを求めよ。

(松尾芭蕉)



HOKKAIDO 自民党

来たれ！ 党に新風を吹き込む 熱血の士よー。

自民党道連
HOKKAIDO 政治塾主宰
自民党道連会長
衆議院議員



伊東 良孝

「歴史的敗北」という言葉を重く実感する昨今です。ですが同時に私は、この未曾有の非常時に党再生の使命を託された「天の配剤」に対し、「全身全霊を以て報いよう！」との内なる闘魂をもまた、ふつふつと湧いてまいります。

自民から民主への政権交代ー。戦後史を画する政治体制の大転換は、いったい「日本丸」をどこに、どう導いていくのでしょうか。確かな羅針盤も海図もなく、船がジグザグに迷走する危うさを日々感じずにはられません。

いま、日本は、国全体が根元から揺れ動き、混迷の様相を深めています。政治に対する「不満」、生活に対する「不安」、人間に対する「不信」ーが錯綜し、将来への閉塞感がつる時代にあつて、国民を「安心社会」へソフトランディングする「解」を提示するのは容易なことではありません。

しかしこの困難で複雑な「連立方程式」に解を与え実行・実現しうる政党こそが、真に政権政党の資格を得るのだと思います。

こうした私の強い思いや危機感をいかにして具体的な政策として体系だてていくかー。時代の転換期には常に斬新な草の根の知恵とエネルギーが必要です。鮮やかな人材を発掘し、鍛え、育成し、党に新しい血を入れる。これこそが、自民党道連『HOKKAIDO政治塾』の挑戦的な目標だと考えます。どうか、国や北海道の将来を担い新時代に立ち向かう「再生・自民党」を期して、新たな「胎動」を起こそうではありませんか！

党再生に、来たれ“新党人”！ 日本と北海道に熱風をー。

自民党道連
HOKKAIDO 政治塾塾長
自民党道連副会長
参議院議員



中川 義雄

『花の咲かない冬の日、下へ下へと根を伸ばせ』ー。立党以来の大試練に直面しているわが党は、今はひたすら「臥薪嘗胆」、党勢の裾野を八方に広げる地道な努力と覚悟が必要だーと自らに言い聞かせる昨今です。

『国民政党＝自民党』ー。私たち自民党員は、この言葉に限りない誇りと自負心を抱いてきました。かりそめにも、特定の階層や集団、イデオロギーや宗教などに偏せず、かつ、わが国の歴史や伝統、慣習や文化の中から発酵してきた「民族の英知や良識」に立脚した国民政党を標榜してきたからです。

しかしながら、経済のグローバル化の大波に晒される過程で、こうした「立党の精神」や「保守の理念」は次第に失われ、取って替ったのは、過度の規制緩和と競争至上主義、あるいは市場原理主義やマネー資本主義への著しい傾斜でした。

美しい山河・自然、温かな故郷・家庭・地域ーこうした日本人の「原郷」を喪失した先に、本当に日本の豊かさはあるのでしょうか。衰退する農林水産業、疲弊する地方経済を放置したまま、果たして日本の再生はあるのでしょうか。自民党再生の目指すべきヒントは、ここら辺に潜んでいるに違いありません。

昨年40講座をこなし、幾多の前途有為ある青壮年に「政治開眼」のきっかけを開いた「HOKKAIDO政治塾」ー。第一期の成果を踏まえ、さらに新たな熱血有志が登壇する政治道場へと飛躍することを願ってやみません。

個性と品位ある日本人・国際人を目指そう！

人格・教養・政策・知識を兼備した政治家を目指そう！

開講の目的と講義テーマ

開講の目的・・・「政治」に青雲の志を抱く青壮年の発掘・育成

- 1、政治哲学、政策知識、実践的選挙運動の修得。
- 2、歴史と古典に立脚した人格、教養の練磨。
- 3、近未来のあるべき「北海道像」の追求。

講義のテーマ・・・上記の「開講目的」に沿って、以下の講義を設定・研鑽

- 1、自民党立党の理念・精神とその歴史を再考し、党再建・再生の方途を考究する。
- 2、日本の近・現代史を世界的、東洋的視点に立って学び直す。
- 3、中国の諸子百家、西洋の古典的軍事・戦略・外交論を学ぶ。
- 4、北海道の自立・再生戦略を構想し、実現への見取図を描く。

講義の具体的な演題(例)

- 国家基本政策の研究
(憲法・教育・外交・安全保障・地方分権(道州制)・食料・エネルギー・地球環境・経済・産業政策・財政再建等)
- 日本の近・現代史を再検証する
- 戦後の政治経済の歩みを知る
- 日本精神の真髓とは何か
(武士道と天皇制を中心として)
- 中国の諸子百家を学び直す
- 情報収集と情報活用法
- なぜ今政治なのか、先人、先達から志を学ぶ
- 自民党立党の理念・精神と歴史をふり返る
- 自民党再生の方途を探る
- 近未来の「北海道像」のあり方を策案する
- 諸外国の政治リーダー研究
- 実践的選挙運動論
- 後援組織・支援組織の立ち上げと集票活動のあり方
(順不同)

公開講座

ホットなテーマ、著名講師を招聘

合宿

塾生同志、泊り込みで“鬪論”

☆大学教授、大学准教授、党役員、道内選出国會議員、道議會議員、著名文化人、宗教家、経済人から講義テーマに応じ招聘します。

「第2期塾生」を募集しています

■入塾資格

- 「政治」に志を抱き、日本国と北海道のために「一隅を照らす」熱血の士。
- 自民党の理念・政策の理解を深め、地域において党を背負わんとする気迫の士。
- 原則として、入塾時より全ての講座に出席できる方。
- なお、第1期修了塾生で、引き続き受講を希望する方は「聴講」を許可します。また、第1期終了塾生(再度、受講を希望する方がすでに多数名乗り出ている)の中から、「運営委員会」を編成し、第2期生の指導、世話役に当たります。

■講座

- 講義、質疑応答、グループ別ディベート、選挙実践体験、選挙実習課外活動等。
- 原則、年間18回の講座を設定。定員は20名内外とし、申込者多数の場合、書類選考し、面接を実施する場合があります。

■受講日/毎月第2土曜日及び隔月第4土曜日 13時～17時

- ☆合宿講座/年2回開催予定。
- ☆公開講座/時局に応じ開催。塾生以外の方も受講可。

■応募に必要な書類

- 申し込み希望者には下記の送付書類にご記入いただき、郵送にて、自民党道連内「HOKKAIDO政治塾」事務局宛にお送り下さい。
- ①入塾申込書 ②調査票(指定用紙) ③写真(調査票貼付) ④小論文(指定用紙)

■応募締め切り/平成22年2月5日(金)必着 当日消印有効。

■受講料(年間)/18,000円 入塾時に一括納入(入塾合否決定後、振込用紙を送付します)

- 他に、教材費として実費を徴収する場合があります。
【合宿講座】参加費は必要に応じて別途徴収します。

■入塾合否通知発送

平成22年2月10日(水)頃から順次発送予定

■第2期生開講式

平成22年2月27日(土)午後1時
札幌市中央区南1条東1丁目(太平洋興発ビル6F)

■お問い合わせ及び書類送付先

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目 ニュー札幌ビル9F 自民党道連内
「HOKKAIDO政治塾」事務局 宛
TEL(011)241-5941 FAX(011)221-7705 <http://www.jimin-douren.co.jp>
《受講料の振込先》
口座番号/北洋銀行札幌駅南口支店 (普)0361935
口座名/自由民主党北海道支部連合会

■主宰・・・伊東良孝(自民党道連会長・衆議院議員)

■塾長・・・中川義雄(自民党道連副会長・参議院議員)

■コーディネーター・・・武谷洋三(自民党道連前事務局長)



自民党道連事務局内 「HOKKAIDO 政治塾」

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西4丁目 ニュー札幌ビル9階
TEL(011)241-5941・FAX(011)221-7705

<http://www.jimin-douren.co.jp>